

## 着任のごあいさつ

この春の異動で、4月1日付で、明石市立大蔵中学校長を拝命しました平田 高之（ひらた たかゆき）と申します。歴史と伝統を引き継ぐ者として、身が引き締まる思いです。

本年度は、「平成」最後、新しい元号「令和」元年、明石市制100周年、明石城築城400周年、さらに、本校創立75周年と記念すべき年にあたります。

新しい元号には、「人々が美しい心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているということですが、本校生徒が生きるこれからの社会がそのようなことを願ってやみません。

私自身昭和59年に初任者教員として、平成9年3月まで（うち平成5年度から3年間はメルボルン日本人学校勤務）お世話になった思い出がいっぱいつまった愛すべき学校で、再度このように勤務させて頂けることになったのはこのうえない幸せを感じています。どうぞよろしく願いいたします。

人口減少、少子高齢化、グローバル化、AIが一層進展するこれからの時代は、「私たち大人が経験したことの無い、将来の変化を予測することが困難な時代」と言われています。本校生徒が卒業した後に、このような激動の時代を豊かに生き抜き、自らの未来を開拓できるようにするため、私たち教職員が「チーム大蔵」として一丸となり誠心誠意取り組んでいく覚悟です。

しかし、現在の学校教育は、学校だけでは立ちいきません。保護者・地域の方々の、保護者ならではの、地域ならではののお力をお借りしなければ教育活動が十分成果として現れないことも多々あるかと考えております。何卒、本校教育へのご理解、ご協力をお願いいたします。



南館への渡り廊下から見える明石海峡大橋



創立50周年記念碑と花壇・学友館